

<東京>
8月4日(火)、5日(水)
秋葉原 UDX 4F ギャラリー

<大阪>
8月20日(木)、21日(金)
グランフロント大阪 北館 B2F
コングレコンベンションセンター

約10年ぶりに開催いたしました服育展「服育 MUSEUM」。東京、大阪両会場とも大勢の皆様にお越しいただき、大盛況のうちに終了することができました。「服育」を『着る』『学ぶ』『知る』といった3つの観点から衣服や取り組みを通してご紹介した様々な展示は、多くの先生方にご興味を持っていただけたようでした。テーマの「服育のわ(輪)・わ(話)・わ(和)」のように、様々な団体や先生方とコラボレーションし広がっていった取り組みの「わ」の充実を、感じていただけたのではないかと思います。今回の服育 MUSEUM をきっかけに、服育活動を始めてから10年の間につながった方々、ご来場いただいた皆様、そしてこれから服育の輪の中に入って下さる皆様と、未来に向けて益々素敵な服育の花を咲かせていくことができると願っています。

服育を 着る



ママ達との話し合いから生まれた園児・小学校服。園や学校のイメージ別にご紹介しました。



横浜国立大学・後本先生との共同研究をベースに、快適な素材やデザインについてご紹介しました。



小学校での高視認性安全服のモニター調査について発表。「安全」をテーマに、消費生活アドバイザーの方とも連携し子どもを守る機能を持った制服について様々な観点から発表しました。



お茶の水女子大学・内藤先生との共同研究で先生・生徒の制服への意識や、制服デザインがどのようなイメージを発信しているのが発表しました。



服育を 学ぶ



まずは衣服について知ることから。「英国紳士」の衣服やライフスタイルから私達の衣生活にも役立つ知識をご紹介しました。



学校で服育の学びに活用できるワークシートやプロジェクトのご紹介をしました。

服育を 知る



10年間の服育の広がりをご紹介しました。全国の服育ファンの先生からも、それぞれの服育との関わりについてコメントをいただきました。

Seminar & Fashion Show



お茶の水女子大学 グローバルリーダーシップ研究所の内藤章江先生を講師にお迎えし、東西にてセミナーを開催しました。

<東京> 制服に関わる意識と教育・指導の現状
～教師と生徒の意識の相違～

共同研究「服育の観点から見た『制服』の意味づけに有効なデザインの提案」より「制服にかかわる意識と教育・指導の現状」についての分析結果をご紹介いただきました。制服の着こなしと生活態度に相関関係が見られるなど、制服を正しく着る事の大切さを改めて認識させられる内容でした。



<大阪> 「被服心理学」で読み解く衣服のメッセージ
～コミュニケーションツールとしての装い～

衣服の社会・心理的機能からコミュニケーションと衣服の関係について分かりやすくお話しいただきました。中でも制服の着用方法がコミュニケーションに及ぼす影響については、生徒にとって学校がどのような場として認識されているのかということから年齢による着こなしの変化まで、様々なデータや資料を基に詳しくご説明いただきました。



共同研究やママ達とのコラボレーションから生まれた制服のファッションショーを開催しました。大阪では一緒に制服作りをしたママ達のお子さんがモデルになってくれました。ショーの前には内藤先生よりデザインについての共同研究報告もいただきました。



お土産とスタッフのプルーチはザ・ビーブルさんの手作りです。オーガニックコットンのマスコット「コットンベビ」とコットン製とリサイクルウールで作ったプルーチでした。